



ホールの使用実態について

他市町村のホールの使用実態について

(1) 高田城址公園オーレンプラザ

①概要

所在地	新潟県上越市本城町8番1号
座席	606席 ・大部分がフルオートタイプのロールバックチェアスタンド ・前部数列のみ、真鍮のポールを取り付けて手動で設置
運営者	上越市※音響照明設備のセッティングおよび掃除のみ外部に委託

■可動席のタイプ



出典：<https://www.kotobuki-seating.co.jp/projects/list/detail.html?pdid1=00861>
(KOTOBUKI SEATING HP)

②使用実態について

- ・令和6年度は、1か月に約1,000～5,000人、**計30,707人**ほどが使用。
- ・**座席を出した形での利用**が多い。利用方法は右表の通り。※詳細な稼働率は不明
- ・基本的に**土日の稼働率**が高い。水～金の夜は楽団の練習で使用される。
- ・本格的なプロの公演は上越文化会館（約1,500席）、**市民の文化活動**をオーレンプラザという形ですみわけ。
- ・近くの会館が焼失したことや、近隣市町村の団体も使用することから、**市民団体の活動場所としての利用ニーズが大きい**。使用は抽選となるが、抽選に外れる団体も多い。
- ・市外利用は市内利用の倍、営利目的の使用の場合は市内利用の4倍の値段を徴収。

表：令和6年度のホール利用人数（人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1,101	2,619	1,579	1,860	2,683	1,955
10月	11月	12月	1月	2月	3月
5,519	4,645	3,977	567	1,981	2,221

表：ホールの主な使用方法

平土間形式での利用	座席を出した形式での利用
企業の展示会、社交ダンス、健康診断など	市の交響楽団や吹奏楽団の練習、コンサートなど

③ イベント実施について

- ・ **市民**や**周辺市町村の活動団体**によるイベント、企画運営委員会による**自主事業**等を実施。
- ・ ホールで行う自主事業の内容は左の表のとおり。市民の活動団体によるイベントとしては、**コンサートなどサークル活動の発表**や**社交ダンスの公演**など。
- ・ 大きいイベント時には、運営協力者として、あらかじめ**サポーター制度**に登録した市民ボランティアが協力。基本的にはボランティアだが、主催団体により謝礼金が支払われる場合がある。

④ 運営上の課題について

- ・ 前部が手動式であるため、土曜日夜に平土間での利用、日曜日に座席形式での利用がある場合は、座席のセッティングが大変である。夜10時まで開館しており、職員のシフトが組めない場合は利用を断ることもある。
- ・ 抽選に外れて使用できない団体も多く、**使いたいときに使うことが難しい状態**となっている。

表：イベントの企画運営について

企画運営者	・ 交響楽団、吹奏楽団、市職員で構成される企画運営委員会 ・ 市民や周辺市町村の団体
運営協力者	イベントサポーター

表：自主事業の内容

自主事業イベント名	自主事業内容
オーレンピアノコンサート	市民がホールでピアノコンサートを実施
オープンリハーサル	交響楽団および吹奏楽団の練習を公開
ミュージックファンオーレ	上越エリアで活動する公募で選定した複数のバンドによる演奏会
クリスマスフェスティバル	交響楽団および吹奏楽団によるクリスマスコンサート
アートフェスオーレ	オーレンプラザを利用する市民活動団体の活動発表
おはなしジャンボリオーレ	各図書館や公民館で活動する団体が、子どもたちに本の読み聞かせを行う

(2) アオーレ長岡

①概要

所在地	新潟県長岡市大手通1丁目4-10
主要施設	庁舎、ナカドマ、アリーナ（5,000席）、市民交流ホールA（200席の可動席）、市民交流ホールB・C（平土間）
運営者	NPO法人ながおか未来創造ネットワーク（運営委託）

②使用実態について

- ・ イベント来場者・ホール等利用者数は、コロナ以降回復傾向にあり、令和6年には**延べ65万人**が利用。
- ・ 市民交流ホールAは音響重視の整備となっている。子ホールA・B・Cの主な使用方法是、右表の通り。
- ・ 各機能全体で、**市民利用が84%、商業利用が16%**となっている。**稼働率は7～8割**ほどと高く、平日日中でも多くの利用がなされている。
- ・ 各機能は、3か月前から予約を受け付ける。1,000人以上の大規模イベントの場合はそれ以前の予約が必要であり、ナカドマ・アリーナは3か月以上前から予約で埋まることが多い。
- ・ 稼働率向上のため、市民活動での使用時は、アリーナ以外は**無料**である。営利目的の場合は有料とする。
- ・ 施設として厳しい利用ルールがなく、常識の範囲内で飲食やアルコールの持ち込みが可能。

■市民交流ホールA



■ナカドマ



出典：アオーレ長岡HP

表：H26～R5年のイベント来場者・ホール等利用者数（万人）

H26	H27	H28	H29	H30
89.3	88.4	96.1	88.5	91.4
R1	R2	R3	R4	R5
90.8	18.8	31.8	52.4	165

表：各ホールの主な使用方法

ホールA	演劇、ピアノ、カラオケなど
ホールB・C	ダンス・パネル会・展示会など

③ イベント実施について

- ・ナカドマのみ、もしくはナカドマ・アリーナを一体的に使用してイベントを実施
- ・運営者のNPO法人によるイベントは1つのみであり、それ以外は**市民による自主事業**
- ・イベント実施主体としては、住民が**約8割**、商業利用が**約2割**となっている。
- ・イベントを開催した市民同士が知り合いになり、新しいイベント開催につながることもある。

④ 運営上の課題について

- ・稼働率が高く、既存利用者と予約枠が埋まるため、**新規の利用者が予約しにくい**状況にある。
- ・運営の持続可能性を確保するためには使用料を徴収したほうが良いが、稼働率の低下が懸念されることから、**利用料金の設定**について検討が必要である。
- ・同様に、収益となる興行利用を増やすと、施設のコンセプトである市民利用が低下することになり、**収益と市民利用のバランス**が難しい。
- ・多様なイベントで活用されていることから、においや騒音など、周辺地域への配慮が必要な場合がある。

表：イベント内容について

NPO法人の自主事業	・アオーレ！ドイツフェスト (毎年夏に開催する、ビールやソーセージなどドイツの味覚を味わうフェス)
市民の自主事業	・ランチコンサート ・ファッションショー ・高校生ラーメン選手権 ・闘牛など

■ ランチコンサート



■ 仙古志闘牛



■ ファッションショー



■ 高校生ラーメン選手権



出典：アオーレ長岡資料

(3) 東神楽町複合施設はなのわ

①概要

所在地	上川郡東神楽町南1条西1丁目3番2号
座席	440席（可動式:280席、スタッキングチェア:160席） ・セミオート・マニュアルタイプのロールバックチェア スタンド ・収納時に全ての座席を手動で畳む必要がある
運営者	東神楽町

■可動席のタイプ



出典：https://www.kotobuki-seating.co.jp/products/list/detail.html?pdid1=00504
(KOTOBUKI SEATING HP)

②使用実態について

- ・役場の**大会議室**を兼ねており、会議で使うことが多い。そのための机を袖の器具庫に収納。
- ・芸術文化に関する使用方法としては、旭川の**学校のブラスバンドの発表**や**クラシックバレエ**の教室・発表会、ジャズの**コンサート**、**落語**などを実施。
- ・その他、講演会や着任式離任式などの式典、選挙の開票所として使用される。
- ・各利用方法の運営後に発覚した課題については右表参照。

※詳細な稼働率等は不明

③音響操作について

- ・音響設備や照明は簡易的であり、**町職員が操作**する。
- ・本格的な公演の場合は、**プロが音響機材を持ち込む**。

表：ホールの主な使用方法と課題

利用方法	運営後に発覚した課題
会議	暖色の光では資料が見えにくかったため、白色のLED照明を導入。
ブラスバンド	指揮者の山台の導入要望があったが、予算面や置き場所の関係から断念。
クラシックバレエ	下から照らす照明の要望があったが、予算面から断念。
講演会 式典	規模がそれほど大きくない場合は、客席とステージの距離が遠く感じるが、一文字の幕をステージの奥にししかかけられずに使わざるを得ない。

(4) ラポルテ五泉

①概要

所在地	新潟県五泉市赤海863番地
座席	500席 ・フルオートタイプのロールバックチェアスタンド
運営者	まるっと五泉プロジェクト（代表企業：Fun Space株式会社、 構成団体：イオンディライト株式会社）（指定管理）

②使用実態について

- 令和3年に開業後、来館者数は**毎年40万人弱**で推移し、令和6年には385,436人が来館。
- 多目的ホールの稼働日数は**毎年250日前後**で推移し、令和6年には268日となっている。
- 降雪のため**1月の利用が少なく**、11月の利用が多い。徐々に固定利用が増えている。
- 生涯学習の活動拠点としての利用を想定。ホールの使用方は右表のとおり。※各形式の詳細な稼働率は不明

③イベントについて

- 指定管理者が企画運営。収入は**指定管理者の収入**となる。地元の商工会議所や観光協会等連携して市内外から集客を図ったイベントを実施。

④運営上の課題について

- コンサートなどの大規模イベントを行う際には、ホールや駐車場が狭いとの声が利用者から聞かれる。

■可動席のタイプ



出典：<https://www.kotobuki-seating.co.jp/projects/list/detail.html?pdid1=00861>
(KOTOBUKI SEATING HP)

表：年ごとの来場者数（人）
※令和3年10月開業

R3	R4	R5	R6
184,398	392,293	389,459	385,436

表：多目的ホール年間稼働日数

R4	R5	R6
220	252	268

表：ホールの主な使用方法

平土間形式での利用	座席を出した形式での利用
展覧会、マルシェなど	コンサート、講演会など